〒 162-0814 東京都新宿区新小川町 9-1 Tel: 03-3260-6148 / Fax: 03-3260-6198 / Email: eigyo@shinkyo-pb.com

死と命のメタフ

キリスト教贖罪論とその批判への聖書学的応答

浅野淳博 [著]

A5 判・並製・360 頁・本体 2,700 円 (税込定価 2,970 円) ISBN 978-4-400-11184-9 C1016

「贖罪」とは何か? イエスの死と命の救済的価値とは何か?

「キリストは人間に代わって罪を負い、いけにえとして死んだ」という代理贖罪的な表現はどこまで適切か。少数者に犠牲を強いる「犠牲のシステム」をキリスト教神学が内包しているとする哲学者・高橋哲哉氏の議論を批判的に捉えつつ、聖書および関連古代文献を広く検証して、聖書が伝えようとしているキリストの死に至る生き様の真の意味を探り、その意味をいかに語るかを方向づける。

著者 浅野淳博(あさの・あつひろ)

関西学院大学教授。1960 年生まれ。フラー神学校にて神学修士号(1997 年)、オックスフォード大学にて哲学博士号(2003年)を取得。単著:Community-Identity Construction in Galatians (T.&T. Clark, 2005); 『NTJ 新約聖書注解:ガラテヤ書簡』(日本キリスト教団出版局、2017年)他。共著:The Oxford Handbook of the Reception History of the Bible (Oxford Univ. Press, 2011); The Trinity Among the Nations (Eerdmans, 2015) 他。翻訳:R. ボウカム『イエスとその目撃者たち』(新教出版社、2011年);J.D.G. ダン『使徒パウロの神学』(教文館、2019年)他。

【目次より】

プロローグ 移行性と加虐性

第1章 苦難の僕と移行性(移行主題か啓発主 題か)

第2章 マカバイ殉教者の記憶

第3章 イエスと神の国

第4章 原始教会の伝承

第5章 パウロの回心とその神学的特徴

第6章 パウロからその後の初期文献へ

第7章 2世紀殉教者の証言

エピローグ 畑を耕す

補論 塵芥について (I コリ4.13b): イエスの死を 説明するメタファに関する一考察